

なべ

しま

だん

つう

# 鍋島緞通

2015年8月28日(金) - 9月27日(日)

佐賀大学美術館

THE SAGA UNIVERSITY ART MUSEUM

〒840-8502 佐賀市本庄町1

TEL: 0952-28-8333

FAX: 0952-28-8215

HP: <http://suam102.com/>

【開館時間】10:00~17:00 (入館は16:30まで)

【休館日】月曜日 ※ただし9月21日は開館し9月24日(木)に休館

【主催】佐賀大学美術館

【協力】佐賀県立美術館 / 織ものがたり

【会場】佐賀大学美術館 1階展示室

【観覧料】無料



綿

-Men-

の織りなす

ハーモニー

の

織りなす

ハーモニー

の

SUAM



なべ しま だん つう

# 鍋島緞通

綿/Menの織りなす  
ハーモニー



鍋島緞通 花杏葉文 明治中～後期



緞通を織る様子 photo: 織ものがたり提供



鍋島緞通 芍薬に唐花文 明治中～後期

上質の木綿を使い、鮮やかに織りなされる絨毯、「鍋島緞通」。佐賀藩三代藩主鍋島綱茂の庇護を受け、江戸時代までは「花毛氈」「扇町毛氈」と呼ばれる藩御用の品でした。明治以降は一般にも販売されるようになり、やがて、鍋島緞通と呼ばれるようになったのです。緞通の素材である「綿」は、かつて、干拓地の塩抜きに使われていました。また、力を使う緞通の織り手には藩士があたっていました。本展ではこの2つの「めん(綿/Men)」を特徴として持つ鍋島緞通を、時代による変遷、同じ木綿の敷物である赤穂緞通や堺緞通との比較からご覧いただけます。基本の大きさである1畳ものから3畳半ものまで、「蟹牡丹文」や「杏葉文」といった代表的な文様に彩られた26枚の緞通のほか、図案集や写真、実際に使われている機を用いての織りの様子など、様々な角度からその魅力をご覧ください。



鍋島緞通 蝶に七宝樹文 大正時代



和綿の花と実  
photo: 苜木もめん提供



鍋島緞通 蟹牡丹文 明治後期～大正  
※緞通は全て佐賀県立美術館蔵

## 講演会

8月29日(土) 14:00~

「緞通の由緒と魅力-25年の調査成果から」  
上田(宮原) 香苗氏 (元佐賀県立博物館・美術館学芸員)

9月5日(土) 14:00~

「佐賀の地理と歴史から読み解く鍋島緞通」  
川副 麻理子氏 (佐賀県立博物館・美術館学芸員)

## よりより体験！緞通ワークショップ

9月19日(土) 13:00~ 木下 真氏 (織ものがたり)

織りの力強さを目の前で見られます。  
きれいな糸でストラップを作る体験も!

## ギャラリートーク

DAY: 9月6日・13日・20日・27日(日) 14:00~  
NIGHT: 9月2日・16日(水) 18:00~

佐賀大学美術館  
THE SAGA UNIVERSITY ART MUSEUM

SUAM

〒840-8502 佐賀市本庄町1 TEL: 0952-28-8333  
FAX: 0952-28-8215 HP: <http://suam102.com/>

## 交通アクセス ACCESS

バス BUS  
佐賀駅バスセンター4番のりばから15分・佐大前下車  
<路線一覧>  
4. 佐賀女子短大・高校線(佐大前経由)  
11. 佐賀大学・西与賀線  
12. 佐賀大学・東与賀線  
63. 佐賀女子短大・高校線(佐大前経由)  
車 CAR  
佐賀駅からタクシーで約10分  
佐賀空港からタクシーで約20分  
佐賀大和ICから車で約20分

## MAP

